

がん教育事前打ち合わせシート〔吉城高等学校〕

日時及び場所	令和4年10月7日(金) 17:00 ~ ※WEB	
事前指導内容 (指導済み☑)	<input checked="" type="checkbox"/> ア がんとは(がんの要因等) <input checked="" type="checkbox"/> イ がんの種類とその経過 <input checked="" type="checkbox"/> フ 我が国のがんの現状 <input checked="" type="checkbox"/> エ がんの予防 <input checked="" type="checkbox"/> オ がんの早期発見・がん検診	<input checked="" type="checkbox"/> カ がんの治療法 <input type="checkbox"/> キ がん治療における緩和ケア <input type="checkbox"/> ク がん患者の生活の質 <input type="checkbox"/> ケ がん患者への理解と共生
事前・事後学習 (指導内容)	事前: 10/11 保健 現代社会と健康「がんの予防と回復」(ア~カ) 事後: 11/15 保健 現代社会と健康「がんとともに生きる社会づくり」(キ~ケ)	
本時のねらい (指導の重点)	がんを自分にとって身近なこととしてとらえ、がん患者への理解を深め、支え合って生きていくために大切なことを考える。(キ・ク・ケ)	
授業概要(主な学習活動)	講師の方へお願いしたいこと(☞)	
1. 課題づくり・講師紹介 日本人ががんになる確率等、既習の内容について触れ、がんを自分にとって身近なこととしてとらえる。 ☞講師の紹介 2. もし、自分や家族ががんを罹ったら、どんな気持ちになって、どんなことで悩むか考えてみよう。(身体・心・社会・なぜ自分が…という解決できない問題など) ★グループ交流→全体でのシェア テーマ①「自分ががんになった場合」 ~AYA世代のがんについて考えよう~ テーマ②「家族ががんになった場合」 ~第2の患者について考えよう~ ☞講師の話(緩和ケアについて触れる) 3. がん患者が暮らしやすい社会を考える ★グループ交流→全体でシェア 活動①自分が余命半年と宣告されたら残された時間をどう過ごすか考えよう。 活動②がん患者が暮らしやすい社会(理想)とはどんな社会なのか考える。その後、講師の先生から <u>実際の状況(現実)</u> を教えてください。 ★個人活動→全体でのシェア 活動③「理想-現実」から社会の課題を考える。 また、今後自分達に <u>できることや授業を受けて感じたことなどを自分の言葉でまとめる。</u> ☞講師の話	☞地域のがん検診の受診率や、治療法の変化など、最新の情報に基づいた説明をお願いしたい。 ☞これまで関わってきたがん患者の方がどのような不安をもち、悩んでいたのか、また、何が支えとなったのか、具体的に話していただきたい。また、そのご家族の方がどのような気持ちでがん向き合い、患者さんを支えているのか生徒に伝えていただきたい。 ☞グループ活動時の話し合いが深まるよう各グループをまわってアドバイスしていただきたい。また、発表後にはできるだけ生徒の具体的な姿を取り上げながら助言をいただきたい。	
	生徒の実態及び必要な配慮	
	・クラス担任に確認 →がん教育において、配慮が必要な生徒情報は特になし。	
	授業当日までの準備	
	<学校> ・保健の授業前(10/4)にアンケートを実施し、結果をまとめて、7日までに届ける。 ・学習指導案、資料(PowerPoint)、学習プリントを11月1日頃に届ける。 <外部講師> ・指導に用いる資料(PowerPoint)を11月4日頃に届けてもらう。	
4. 本時のまとめ		